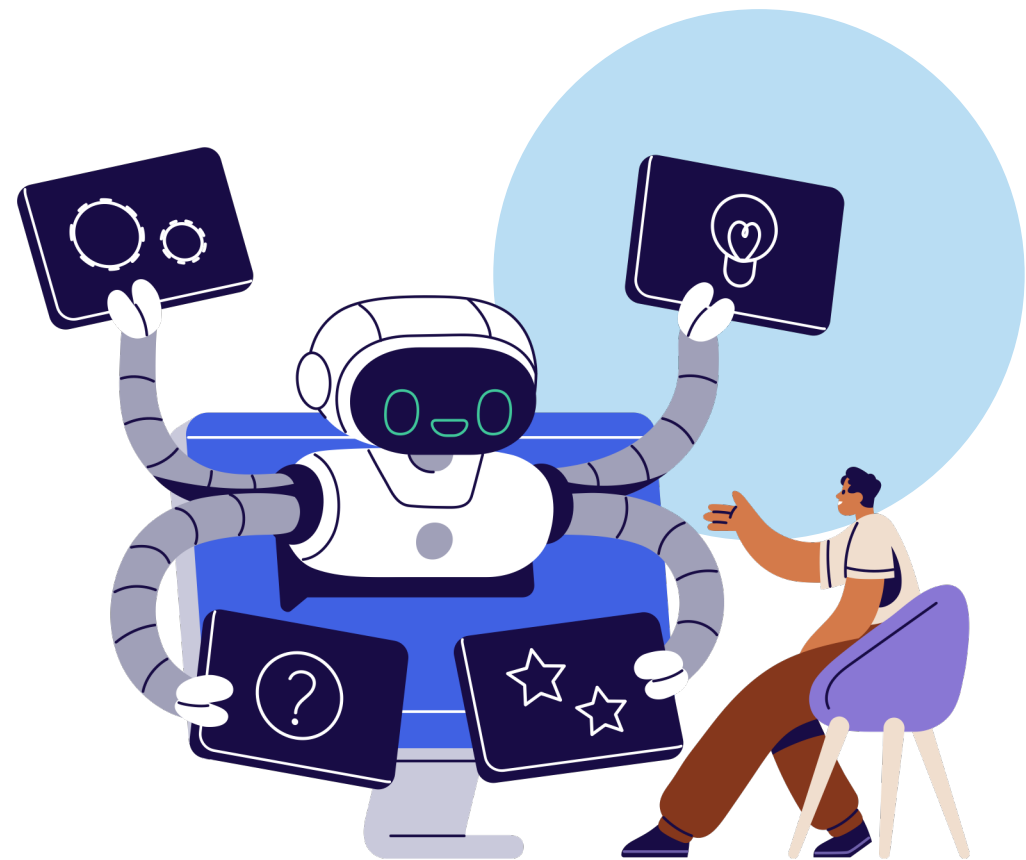


RPAとは？

できることやメリットを  
カンタンに解説



# INDEX

---

1. RPAとは？
2. RPAが必要とされる背景
3. RPAの導入メリット
4. RPAとシステムの違い
5. RPAの適用業務パターン
6. RPAに向いている業務
7. RPAツール「BizRobo!」とは
8. BizRobo!導入事例
9. BizRobo!お役立ち情報
10. BizRobo!の導入ステップ
11. 会社概要

RPAとは  
ソフトウェアロボットを活用した取り組みのこと

## Robotic Process Automation

ロボットによる業務(プロセス)の自動化

PCを使ったデータの参照や集計・入力などを  
人の代わりに（ソフトウェア）ロボットが行ってくれる仕組み



RPAは、ITをつかったテクノロジーというより  
労働力（ヒューマンリソース）として捉えて考えることも多いため  
新しい労働力（デジタルレイバー）とも呼ばれています。

産業用ロボットが、手や足など身体のある部分の動きを代行してくれるのに対し、ソフトウェアロボットは、主にキーボードやマウスクリックなどのPC 操作を代行してくれる

## 直接部門 | 工場の自動化



人  
(手作業)



人+機械  
(集中生産ライン)



人+機械+ロボット  
(FA: ファクトリーオートメーション)

## 産業用ロボット

物理的に触れることができる機械

物体の  
加工 / 組み立て / 在庫整理 / 運び など

肉体的な

繰り返し業務を自動化してくれる

## 間接部門 | オフィスの自動化



人  
(そろばん)



人+パソコン  
(情報システム)



人+パソコン+ロボット  
(RPA: ロボティックプロセスオートメーション)

## ソフトウェアロボット

手で触れることができないプログラム

データ (情報) の  
検索 / 照合 / 整理 / 送信 など

PC作業 (情報) の

繰り返し業務を自動化してくれる

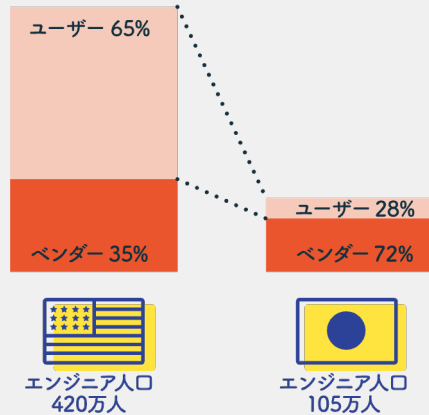
企業  
課題

DX  
推進  
課題

## 人手不足、長時間労働、低生産性

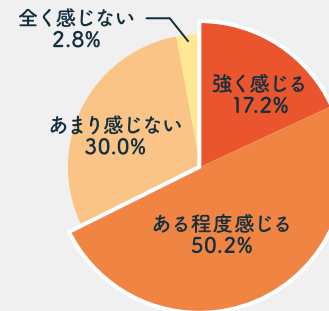
エンジニアが  
不足している

日米エンジニアの人材の分布



既存システムが  
足かせになっている

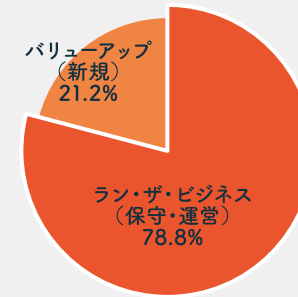
既存システムが  
足かせになっていると感じるか？



出典：経済産業省「DXレポート」（2018年）

IT予算の大半が  
既存システムの維持

IT予算の大半が  
既存システム維持に回されている



政府主導で「働き方改革」や「DX」が推進されているが、日本は外部ベンダーへの依存傾向が強いため進めることが難しい。**日本企業は、エンジニアに依存しないIT化の可能性を探る必要があります。**

RPAは導入ハードルが低く、高い効果が見込める  
ソリューションのひとつです



作業の処理時間が  
短縮



作業ミスが  
減る



業務品質を  
向上



夜間・休日も  
休まず稼働



従業員のストレスを  
減らす



人が取り組むべき  
仕事に集中できる



コンプライアンス  
ガバナンスの強化



人件費（残業代など）  
を削減



業務に合わせた  
増減・変更が容易



“人材難”に  
悩まされない



業務プロセスを  
見える化・標準化



現場の改善意識が  
向上

## ITシステムとRPAは根本的に違う

	ITシステム	RPA
位置づけ	作業効率を上げるツール	人の代わりに作業してくれる労働者
対象業務	変化が少ない大規模業務	変化が多い小中規模業務
品質主幹	業務を再編成する システム部門やベンダー	業務内容をよく知っている 現場や利用部門
修正・変更	基本、エンジニアに依頼して改修 多額の費用がかかる可能性もある	利用部門で修正・変更が可能のため 外部への費用負担が抑えられる
品質	リリース時点がピーク	継続的な運用・改良による ロボットの作り込み
費用	比較的高い	比較的安い

## あきらめていた業務こそ、RPAの活かしどころ

一般的な企業における、仕事の効率化状況



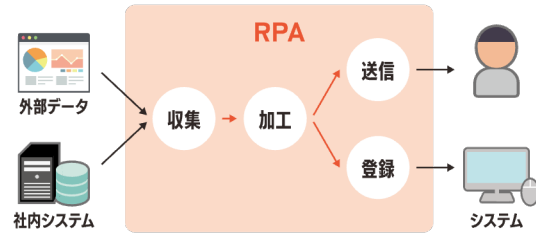
些末な業務をロボットに渡していくことで  
システム導入以上の生産力を生み出してゆける



RPAに向いている業務の例として、以下6つの種類があります  
日常多くの業務フローの中に各種類が組み合わせで存在します

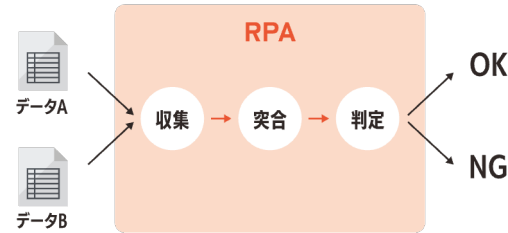
## データ収集 & 出力

目的に応じて社内外からデータを収集・加工のうえ、  
アウトプット（レポートなど）の作成を代行



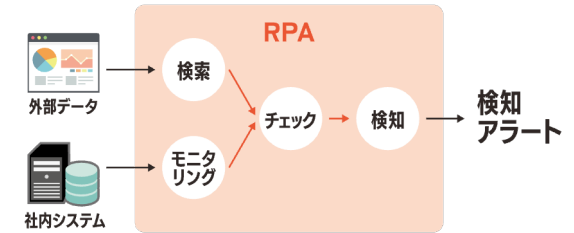
## 突合・判断

異なるインプット同士の間を突合し、内容  
チェックを代行してくれる



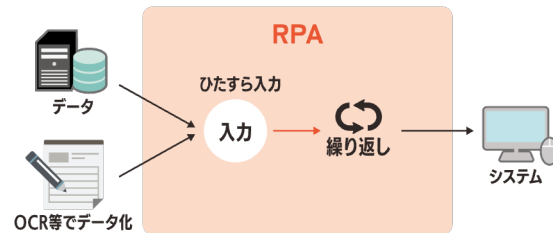
## 情報モニタリング

情報確認や、モニタリングを行い、判定ルール  
に基づき異常ケースを検知してくれる



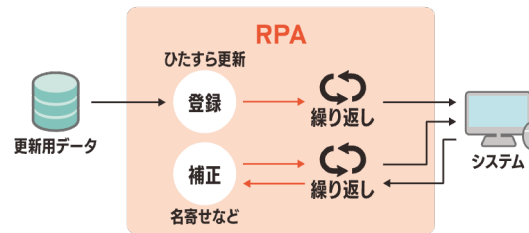
## 入力代行

他部・他社からの情報連携を受けて、システム  
への入力を代行してくれる



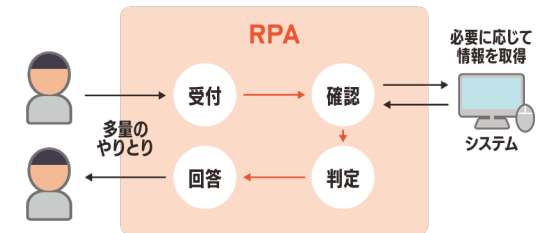
## DB補正・洗い替え

情報鮮度を高めるためのデータベースの補正、  
アップデートを代行してくれる



## 照会受付・回答

第三者からの問い合わせ照会を受けて、必要情  
報を確認し、結果を回答してくれる



# BizRobo! について

## BizRobo! は「**低コストで無制限にスケールできる**」RPAツールです

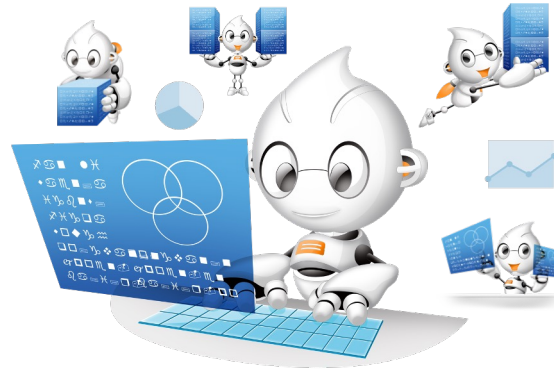
### 低コストで



#### 独自の価格体系で 圧倒的な費用対効果を実現

BizRobo!は開発環境と実行環境をオールインワンで提供。開発者や実行ロボットを増やす際の追加コストの心配も無用。複雑な価格体系の理解やコストの悩みから解放します。

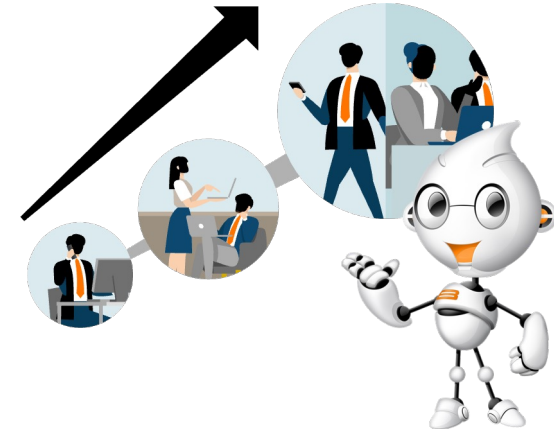
### 無制限に



#### ロボットの作成や実行など あらゆることを自在に

BizRobo!は、ロボットやユーザーを一元管理できるため、統制のとれたプロジェクトの進行が可能。また、特定の場所に縛られることなく開発していくことができるためリモートワークにも適しています。

### スケールできる



#### 導入から活用拡大まで 専任体制でご支援

RPAは導入することがゴールではなく、ロボットを開発運用する体制を整えることが重要です。専任の支援体制はもちろん、これまで10年以上にわたり蓄積してきた開発のTIPSや推進のコツをシェアしながら、伴走支援いたします。

## 導入実績2,800社以上 RPAならBizRobo!

※2024年4月時点での累計導入実績



利用者10,000名以上、継続率99%超えの実績 BizRobo!

成果が出るまでのスピード感がグンと上がる推進ノウハウを使って徹底サポートいたします



## 現場 課題

### スムーズだった 予測効果検証後の本格導入

地域新聞社がRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）導入を検討したきっかけは、同社代表取締役社長の近間之文氏の「RPAってどうなんだろう？」という一言だった。かねてより近間氏はAI等の新しいテクノロジーに対する関心が強く、RPAも関心事の一つだったという。

導入検討の担当になったのは、入社以来、営業部、業務部、情報システム部とさまざまな部署を転籍してきた齊藤氏。これまでの経験からRPAに適した“単純作業”を熟知していたため「情報収集の後、すぐに対象業務のアタリがついた」という。

## 導入 効果

### 1業務につき 「年間2,000時間」の効率化

折込チラシの仕分けに伴う情報入力作業は、ボリュームこそ多いが基本的に毎週行うことは変わらない。BizRobo!導入前の検証段階で、その作業の半分をデジタルレイバーに代替するだけで年間2,000時間の業務効率化が見込まれた。さらに対象業務設定のため全社的に業務を棚卸しすると、徐々に対象業務の範囲は広がり、現在は17の業務で20体のロボットが稼動中。直接的な業務時間の創出効果は年間5,000時間になる。また、定期的に従業員向けのレクチャーを積極的に実施し、デジタルレイバーに対する社内理解にも努めているという。

「導入前はもっと社内で拒絶反応が起こると予想していましたが、実際に現場でロボットを稼動すると『これは楽！』という実感の声が多く挙がります。社員の大勢が好意的に受け取ってくれ、驚きました」（齊藤氏）

株式会社地域新聞社  
BizRobo!導入  
インタビュー事例



全文はこちらから

[rpa-technologies.com/wp-content/uploads/  
2020/03/chiikinews\\_bizrobo\\_case.pdf](https://rpa-technologies.com/wp-content/uploads/2020/03/chiikinews_bizrobo_case.pdf)



## 現場 課題

### RPAテクノロジーズ代表・大角の著書 『RPA革命の衝撃』がきっかけ

同社がBizRobo!と関わりを持つようになったのは、RPAテクノロジーズ代表・大角暢之の著書『RPA革命の衝撃』がきっかけだ。同社オープンデザイン本部 次長・松田周作氏はその経緯について次のように話す。

「地方で人口減少が進むなか、企業や自治体はいかにしてサービス提供を維持していくのか。本書では働き方改革の観点はもちろん、BizRobo!を通じて地域にも貢献し、よりよい社会にしていきたいといった内容が記されていました。その思いが当社代表取締役社長・吉澤均のもとに届き、後に吉澤が大角氏のもとを訪問。2人で意気投合したそうです」（松田氏）

## 導入 効果

### 45業務に拡大、81体が稼働中 社内の業務効率化の意識も高まった

「BizRobo!導入を検討したい対象業務を部門責任者がとりまとめ、週次ミーティングで優先順位を話し合い、テーマやスケジュールを確認します。その後、業務担当者・開発メンバー（オープンデザイン本部）・情報システム室の三者で業務ヒアリングを行い、導入の検討、範囲の決定を行っています」（前田氏）

現在、BizRobo!の導入は45業務にまで拡大。81体のデジタルレイバーが稼働している。

「手動で行っていた時は週に一度が精一杯だった業務も、BizRobo!導入以降、人手をかけることなく毎日行えるようになったケースが多いですね。周囲の社員からも『自分のあの業務をロボットに任せたい!』という要望が出てきて部門全体が活性化。業務効率化の意識も高まりました」（前田氏）

株式会社リンクレア  
BizRobo!導入  
インタビュー事例



全文はこちらから

[rpa-technologies.com/wp-content/uploads/2020/03/lincrea\\_bizrobo\\_case.pdf](https://rpa-technologies.com/wp-content/uploads/2020/03/lincrea_bizrobo_case.pdf)



## 現場 課題

### 医師・看護師が書類に関わる時間を できるだけ短縮したい

2019年9～10月頃、滋賀医科大学医学部附属病院においてBizRobo!導入プロジェクトが始まった。同院看護部からその担当者に任命された1人、岩佐文代氏は、医療現場全般に潜在している課題について次のように説明する。

「医療の現場は長らく、書類作成などの事務的作業で溢れかえています。入院患者さんの受入れにも、入院治療を行う過程でもさまざまな書類作成が発生。私のいる看護部でも、例えば診療報酬が改定されるごとに、新しい事務作業が発生する場合があります。もちろん医療事務のスタッフによる対応も考えられますが、高齢化に伴って患者さんが増えればやがて限界は生じてしまう。医師・看護師が書類に関わる時間をできるだけ短縮したい。それが医療現場の本音なんです」（岩佐氏）

## 導入 効果

### 1週間あたり10時間程度の 削減効果の見込みも

上西氏が開発するロボットはまだ試作段階であるが、パイロット開発の開始からわずか2カ月ほどの現段階で、すでに効果の兆しが見えてきた。

「チーム医療を行ううえで、電子カルテに記された検査値・薬歴といった情報を抽出するなど、情報共有のための下準備にかなりの時間を要します。これまでは薬剤部の栄養サポートチーム（NST）約3名が当該業務を行うだけで、だいたい週10時間以上を捻出していました。これをそのままBizRobo!に代替できたとしたら、かなりの業務効率化を見込めそうです」（上西氏）

上西氏はBizRobo!導入に伴う今後の医療現場の変化についても、次のように話す。「BizRobo!導入によって、医療専門職が患者さん一人ひとりの医療に費やす時間が増えていけば、確実に“医療の質”が向上すると思います。時間の有効活用は医療現場の働き方改革にもつながりますし、質の高い医療の提供は、患者さんの満足度の向上にもつながるでしょう」（上西氏）

滋賀医科大学医学部附属病院  
BizRobo!導入  
インタビュー事例



全文はこちらから

[rpa-technologies.com/wp-content/uploads/2020/03/shigaikadai\\_bizrobo\\_case.pdf](https://rpa-technologies.com/wp-content/uploads/2020/03/shigaikadai_bizrobo_case.pdf)

The screenshot shows the BizRobo! website's case study page. At the top, there is a navigation bar with links for 'ブログ', 'お問い合わせ', '無料トライアル', and 'ポータル'. Below this is a secondary navigation bar with '製品紹介', '導入事例', 'サポート＆サービス', 'パートナー', 'お役立ち資料', 'セミナー', and '会社情報'. A '資料請求' button is also present. The main heading is '【RPA導入事例】BizRobo!ユーザーの声', with a sub-heading 'BizRobo!をご利用頂いているお客様の導入背景、導入理由、対象業務と導入効果等をご紹介します'. A breadcrumb trail shows 'ホーム > 導入事例'. Below this is a filter bar with '製品', '業種', and '企業規模'. The '新着' section displays six case study cards, each with a photo, company name, a brief description of the implementation, and a category tag.

製品	業種	企業規模
増玉県狭山市	高岡ケーブルネットワーク株式会社	株式会社リガード
生活協同組合コープかがわ	株式会社アンカーネットワークサービス	マックスバリュ西日本株式会社



他にも多くの事例を公開しております。



<https://rpa-technologies.com/case>



# BizRobo!お役立ち情報



## お役立ち資料

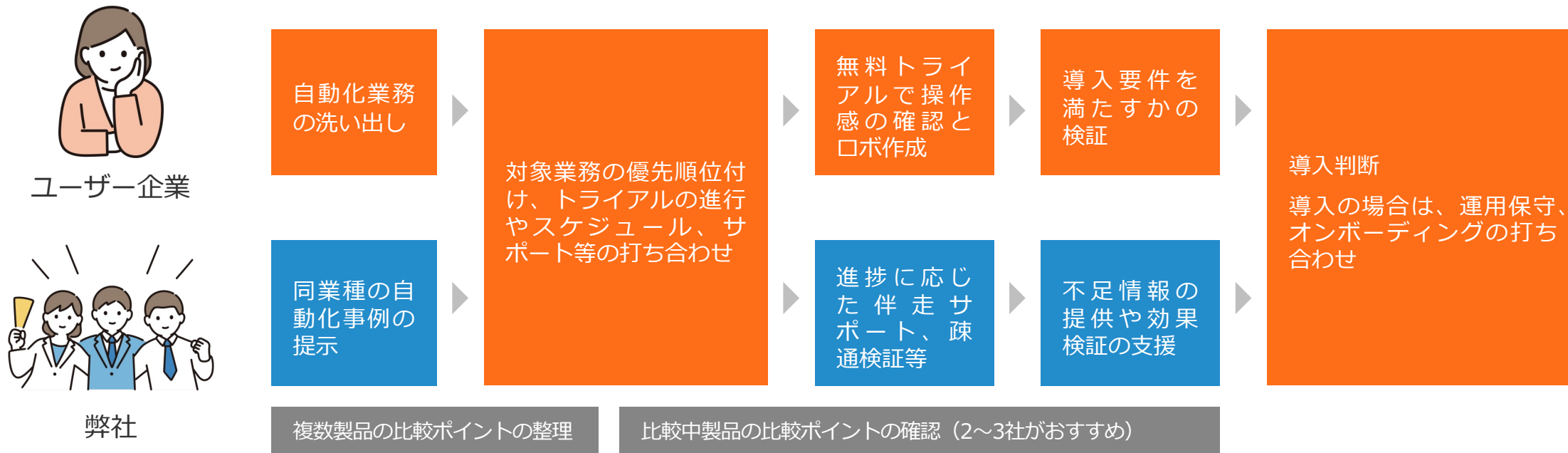
<https://rpa-technologies.com/useful>



## Webセミナー

<https://rpa-technologies.com/seminar>

全国10拠点と各地の各業界に精通したパートナーが  
どこからでもご支援いたします！

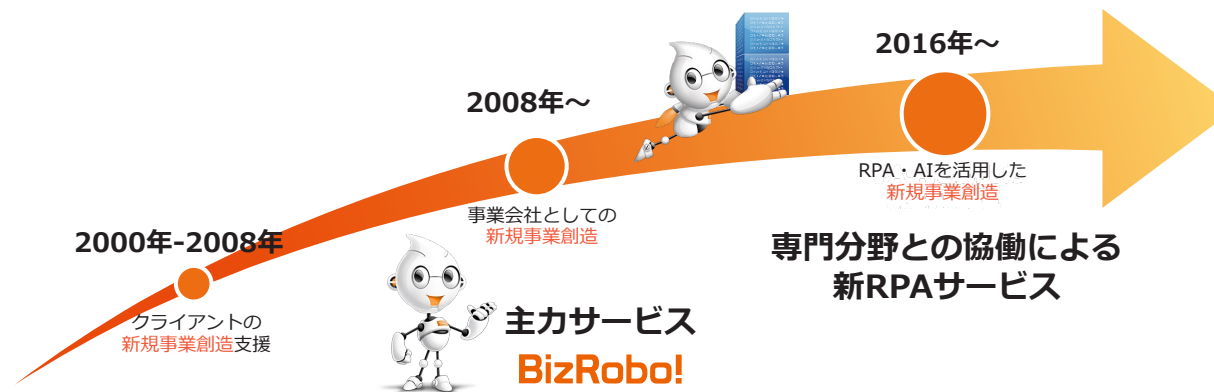


ご相談、お問合せはこちらまで



<https://rpa-technologies.com/inquiry/contact>

<b>会社名</b>	オープン株式会社
<b>持ち株会社</b>	オープングループ株式会社【東証プライム：6572】
<b>設立</b>	2013年7月
<b>代表者</b>	代表取締役執行役員社長 石井 岳之
<b>所在地</b>	東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー8F
<b>事業内容</b>	スマートロボット（RPA、AI）を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業 スマートロボット（RPA、AI）を活用したアウトソーシング事業 スマートロボット（RPA、AI）を活用したデジタルマーケティング、オンライン広告事業



楽しい時代に進化する  
**BizRobo!**